



第80号

発行所
大原野自治連合会
大原野社会福祉協議会

「活気溢れるまち大原野」

に向かって



大原野自治連合会長 小原 喜信

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。地域の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は大原野自治連合会の地域自治活動にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も皆様の住みよいまち大原野を目指して活動を進めてまいりますので宜しくお願いいたします。

京都市に対し長年にわたり要望しておりました都市計画道路の中山石見線については、ようやく昨秋から工事が再開される運びとなりました。工事完成予定は令和10年度末となります。この間、地域の皆様には何かとご不便、ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力の程、宜しくお願いいたします。引き続き都市計画道路の査掛上羽線の残りの区間については、早期着工そして早期完成を要望してまいります。

昨年は皆様方のお力添えの下に、いろんなイベントや活動が出来ましたことを心より感謝申し上げます。

ここで、その一部となりますが紹介させていただきます。

10月には、第65回大原野区民体育祭が開催されました。実に5年ぶりの開催となります。好天に恵まれ、競技種目に参加するだけでなく応援にも熱が入って、より地域のつながりや親睦の輪が広がったことでしょうか。今年も多くの皆様に参加頂いて区民体育祭が盛大に開催されますことを願っています。因みに65回という数字は私達の大原野が昭和34年の秋に、乙訓郡大原野村から京都市の右京区に編入した時から数えて65年目ということを表しています。その後昭和51年、右京区から西京区が分区分立しました。

フジバカマの花については、残念ではありますが現在の南春日町の畑では連作障害が発生し、栽培を続ける事が困難になりました。昨年で最後となったフジバカマ祭には多くの人々に来園頂き、惜しまれつつもその幕を下ろしました。アサギマ

ダラの蝶が飛んでくるのをずっと待ち続ける写真愛好家の姿が強く印象に残っています。一方、大原野産米を使った日本酒の「藤袴」はラベルを一新し、ボトルにはアサギマダラの首飾りをつけて販売を始めました。是非この大原野の清酒を味わって頂いて、好きな銘柄のひとつに「藤袴」を加えて頂ければ最高です。

12月に大原野中学校では創立30周年記念式典が挙行されました。また、地域にとっても大きなイベントでもありますフェスタ大原野も、第30回という記念すべき回として開催されました。フェスタ会場では、全員で力を合

わけて祭りを盛り上げ、成功裏にフェスタを終える事が出来たことを大変嬉しく思います。30回という歴史の持つ重みを感じながら、地域の皆様とともに回を重ねて参りたいと思います。こちらも昨秋になりましたが、新たに大原野学園学校運営協議会が設立されました。大原野学園と、大原野中学校を中心に大原野小学校と上里小学校の中小3校を合わせたグループの名称ですが、3校の既設の学校運営協議会とは別の3校合同の運営協議会となります。今回の設立によって、何よりも3校の横のつながりが強まります。大原野学園として、小中一貫教育の円滑な運営を目指して設立されたもので、今後の活動に大いに期待

『ふとんクリーニングの対象を見直しました』

大原野社会福祉協議会長 安井 敏

新年おめでとうございませう。大原野地域の皆様はいかがお過ごしでしょうか。昨年、京都は記録的な暑さで、9月まで猛暑日が続き、10月に入っても真夏日が記録されるなど、気象台が記録を取り出してから一番の暑さでした。今後は地球温暖化というより、地球沸騰の時代に入ったようです。

経済の面では、物価の高騰が続いています。毎月のように月初めには、何百という商品の価格が上がりましたというニュースを耳にします。政府は物価上昇以上の賃金のアップを目指すと語り出していますが、なかなか中小企業までは賃金アップは浸透しないようです。私のように年金生活

したいと思っています。10年計画である大原野「地域ブランド」戦略は今年の3月末を以って終了となりますが、次期活動計画については検討委員会を立ちあげて、「大原野 Meet Up」と題してのワークショップも開催しています。大原野に関わる若い世代や事業者の人たちの意見も取り入れながら次期戦略を練り上げて、まとまり次第、皆様にご報告させていただきます。

このままでは、時代の流れで、今までの基準の65歳というのは、時代に合っていないのではなにかという意見が出ました。この間の平均寿命の伸びを考えると、対象年齢を上げて不思議ではなく、実際、利用者は75歳以上の人が大部分なので、実態に即した基準に直すことにしました。

令和7年度からは、対象は一人暮らしの75歳以上の方とさせていただきます。利用者数はそう変わらない見通しです。健康すこやか学級事業(いきいき筋トレ教室)は、10月3日に「いきいき筋トレ仲間集い」をエミナースで実施しまし

た。大原野地域は面積が広いために、4つの会場で筋トレを実施しています。この催しは、2年に1回4会場全員で顔を合わせて親睦を図ろうというもので、筋トレをした後に、美味しい食事を頂きました。

なぬか会は10月8日に日帰りバス旅行を実施しました。行先は関西国際空港でした。日頃は入れない場所にバスで入って、バスを降りた後、着陸してきた飛行機のパイロットに向かって、手を振ったりしました。その後、ホテルでバイキング形式の料理を食べました。最後に阪南市にある月化粧の工場見学に行き、出来立ての月化粧を試食しました。土産品も購入して、無事に帰途につきました。

この様な地域福祉活動は皆様方からの社協賛助会費のご支援があればこそ実施できるものです。今年も社協賛助会員の募集を行いますので、募金活動にご理解とご協力を頂きますようお願い致します。結びに大原野社会福祉協議会の活動に、今後ご理解とご協力、ご支援をお願いします。

上対象年齢を据え置いたままです。社協の本部の会議で、今までの基準の65歳というのは、時代に合っていないのではなにかという意見が出ました。この間の平均寿命の伸びを考えると、対象年齢を上げて不思議ではなく、実際、利用者は75歳以上の人が大部分なので、実態に即した基準に直すことにしました。

心鏡邑和

●新聞離れ、本離れが進んでいる。全国の書店の数はこの10年で30%減となった。新聞についても読売新聞の調査によると18〜39歳の若い層で「全く読まない」が66%にもなっている。若者はネットからの情報に頼っているのだから、ネット上には偽情報があふれている。●民主主義のお手本と言われたアメリカだが、SNS上にフェイクニュースが飛び交い、民主主義の根幹である大統領選挙にも影響を与えたとされている。日本はまだそれほどでもないが偽情報の拡散や過激な情報に対する不安は高まっている。●読売新聞の調査によると、新聞を「全く読まない」若者層はネット上のニュースについて、新聞社が発信した情報も信用できると答えている。たしかに紙の新聞離れは進んでいるが信頼性という点では「新聞報道」は、まだまだ健在と言えるのではないかと。また、新聞はこれからも「必要」と答えた人は74%だった。私も「新聞のない世界」は考えられない。スマホがないと落着かない。年寄りが情報化社会からおちこぼれしないようにわががきをして、と自分でもわかっているのだが。

(南春日町 中澤隆司)

社会福祉協議会への賛助金
ご協力よろしく
お願い致します。

消防団だより

自然災害に備えて

大原野消防分団 宇の山班 班長 山本 浩

新春の候、大原野地域の皆様におかれましては、よき新春をお迎えのことと存じます。大原野地域の皆様には平素より消防団活動に温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は新年早々の能登半島地震に始まり、9月には各地で豪雨災害。能登半島でも復興ままだらぬ状態での豪雨被害となりました。お亡くなりになられた方々のご冥福と被災された方々にお見舞い申し上げます。

大原野地域では、これらの災害に現在のごところ遭遇してはおりませんが、

マルシェ大原野

会長就任挨拶

会長 北村 貢

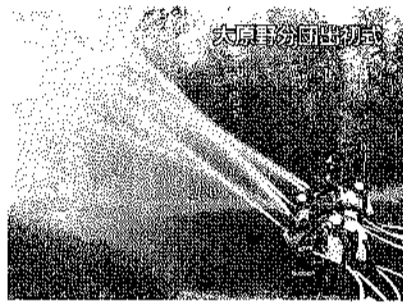
「マルシェ大原野」前会長武川条次氏に代わり令和6年6月から会長に就任いたしました北村貢です。どうぞよろしくお願ひします。

「マルシェ大原野」は、大原野農協前での定期開催に加え、今迄、阪急洛西口駅のみ出張販売を行っていましたが、新たにトート広場での販売も試験的に取り組み始めました。また、大原野産の農産

物が新鮮で美味しく、品質が良いという感想を消費者からうかがっております。農家の方々におかれましては、「大原野産」に自信をもって出荷賜りたく思っております。未筆ではございますが、地域の皆さんに支えられ「マルシェ」発足から8年に渡り今日迄発展させてこられました前会長の後を引き継ぎ、今後増々の発展が出来ますよう、生産出荷者の方々・行政

今日、明日にでも遭遇する可能性はあります。現に、東南海地震の発生確率が上がっていること、ニュースを目にすることも増えてきました。昨年8月には日向灘地震が発生。それに伴い、「巨大地震注意」が発表され、今すぐにも巨大地震が発生するのではと考えられたのではないのでしょうか。幸いにも今回は巨大地震が発生する事無く、臨時情報は解除されました。ただ自然災害はいつ発生するのかわかりません。各御家庭でも避難場所の確認、防災グッズの点検

検(非常食の消費期限。防災ラジオ・懐中電灯の電池残量)を定期的にお願ひします。最後になりますが、私たち消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」と言う使命感で、いざと言う時に備えております。頼りになる仲間たちと共に大原野地域の防火・防災に貢献して行きたいと考えております。今後も消防団活動へのご理解、ご協力よろしくお願ひします。



「京都西山・大原野保勝会」の会員紹介(2)

「京都西山・大原野保勝会」

勝会は「京都西山・大原野保勝会」は、京都西山の景観の維持や観光地としての魅力向上に取組むこととを目的として活動しています。現在の会員数は60です。今回は善峯寺を紹介いたします。

善峯寺は平安中期の長元2年(1029)源算上人により開かれました。源算上人は比叡山横川の恵心僧都(源信)に師事して、47歳で当山に入り、小堂に御自作の千手観音を本尊として奉安されました。長元7年(1034)後一条天皇より鎮護国家の勅願所と定められ、「良峯寺」の寺号が下賜されます。長久3年(1042)後朱雀天皇勅命により、洛東鷲尾寺の仁弘法師御作千手観音を当山に遷して本尊とされて、先の観音像を別に祀られました。建久3年(1192)後鳥羽天皇より現在の「善峯寺」の宸額が下賜されました。

鎌倉時代には慈鎮和尚や証上人が住山、西山宮道覚入道親王を始め、青蓮院門跡より多くの親王が住され、室町時代には僧坊52に及びますが、応仁の乱により大半の坊が焼失しました。その後、江戸時代には徳川5代將軍綱吉公の生母である桂昌院を大檀那として、現存の鐘楼・観音堂・護摩堂・鎮守社・薬師堂・経堂が復興されました。現在の当山は、西国三十三所観音信仰、国指定天然記念物の遊龍松、桜・紫陽花・秋明菊・紅葉など季節の彩り、また所有地36万坪、境内地3万坪、敷地30万坪の貴重な土地を継いでいます。令和6年には慈鎮和尚御遠忌法要と多宝塔改修工事が行われました。天台座主に4度上り任された慈鎮和尚が在山の折、宝篋印塔に伝教大師御真筆の法華経を埋経され、「法の花 伝え教へし筆の跡 良峯寺の宝ともなれ」と詠まれ、その宝篋印塔は府指定文化財になっています。9月の和尚七百回忌に当たり、遺徳を偲ぶ法要を行いました。3月に国指定重文の多宝塔が改修し、この塔は元和7年(1621)に当山成就坊賢弘が両親追善菩提のため創建、境内最古の建造物で35年ぶりの檜皮葺替えに合わせ、3百年ぶりに創建当時の彩色が復元されました。釈尊(お釈迦さま)の

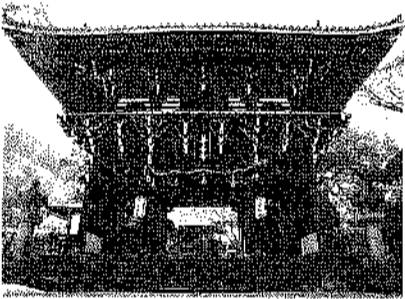


マルシェ大原野 会長 北村 貢



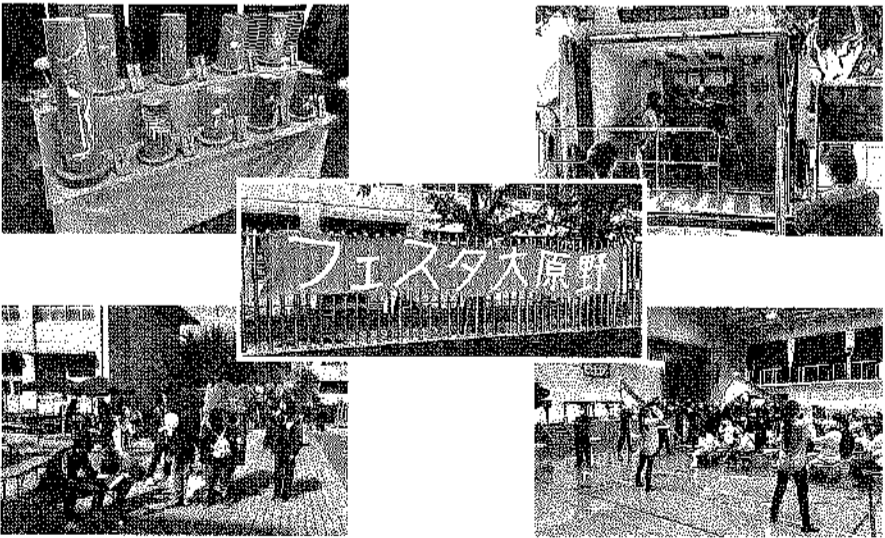
の方々はじめ、関係役員・委員の皆さんと力を合わせて取り組んで参ります。今後共にご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

説かれた法華経には、釈尊が法華経を説き始めると巨大な多宝塔が湧出し、空中にそびえ、塔内にいた多宝如来は釈尊の説く法華経の教を讃嘆、正しいことを証明したと記されます。令和10年に善峯寺は開山一千年を迎えるに当たり、仏法興隆に尽力した先徳の法華経を中心とした仏教観を紐解きながらご宝前の給仕に勤めています。大原野唯一の国重文建造物である多宝塔改修を無事終えて、本堂観音堂の北側にそびえ立つ多宝塔は本尊成徳増長を現する肝要な伽藍に感じております。これから春の訪れと共に境内を梅・桜がご宝前を飾り、ウグイスやホトトギスなど鳥の囀りが立ち上ります。当山の豊かな自然が参詣の方々の身心を浄めて、日々の生活が「当たり前」ではなく、感謝や思いやりの心に気付き深めていく一端となれば幸いです。



京都市生涯学習フェスティバル 第30回 フェスタ大原野 広げよう地域の輪 深めよう心と心のふれあいを

とき 11月10日(日) 午前10時~午後2時 ところ 大原野中学校



***** イベント内容 ***** アートバルーン、竹細工、福祉体験、軽スポーツコーナー、起震車による体験、スーパーボールすくい、お茶席、作って遊ぼう、資源物臨時回収、クイックキャッチ、クイックアーム、チャレンジごみ分別クイズ、展示、野菜販売、こもれびコンサート、フリーマーケット、缶バッジ、大原野小学校おかし販売など

「ご協力ありがとうございました」

日赤社資増強運動

(令和6年度) 合計 509,400円

共同募金

(令和6年度) 12月6日現在 合計 386,000円

《天ぷら油回収》

月~金 A.M.9:30~P.M.3:30 大原野総合自治会館 持参した容器は必ず持って帰って下さい

《アルミ缶プルトップ回収》

月~金 A.M.9:30~P.M.3:30 大原野総合自治会館 プルトップをあつめて車椅子をもらいましょう!ご協力お願いします。一車椅子を貸出しています

地域と共に

笑顔あふれる上里小学校へ

上里小学校 教頭 喜多宏明

新年あけましておめでとうございます。皆様にとって、この新しい年が健康と幸せに満ちた素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、私たちの大原野・上里地域は、豊かな自然と温かい人々に恵まれた素晴らしい場所です。この地で学び、成長することができ、私たちが誇りに思います。私たち教職員一同は、子どもたちがこの里での学びを通じて、地域を愛し、未来を創造する力を身につけることを目指しています。

本校の学校教育目標である「里に学び、里を愛し、里を創る」という言葉には、言うまでもなくいくつもの本校の教育理念が込められています。

まず「里に学ぶ」こと。これは、地域の歴史や文化、自然環境について深く学び、理解を深めることを意味します。子どもたちが自分た

ちの住む場所について知識を深めることで、地域への愛着が生まれます。

次に、「里を愛する」こと。これは地域の一員としての自覚を持ち、他者を思いやる心を育むことです。地域の行事や活動に積極的に参加し、地域社会の一員として役割を果たすことが大切です。子どもたちが地域の人々と交流し、助け合うことで、豊かな人間関係が築かれます。

最後に、「里を創る」こと。未来の地域社会を担う子どもたちが、自らの力で地域を良くするためにいくつもの意味をします。想像力や問題解決能力を養い、地域の課題に取り組み姿勢を育てることが重要です。私たち教職員は、子どもたちが自ら考え、行動する力を身につけるためのサポートを惜しみません。

運動場をふと見ると、大縄大会に向け、クラスの子どもたちが大変やる気に

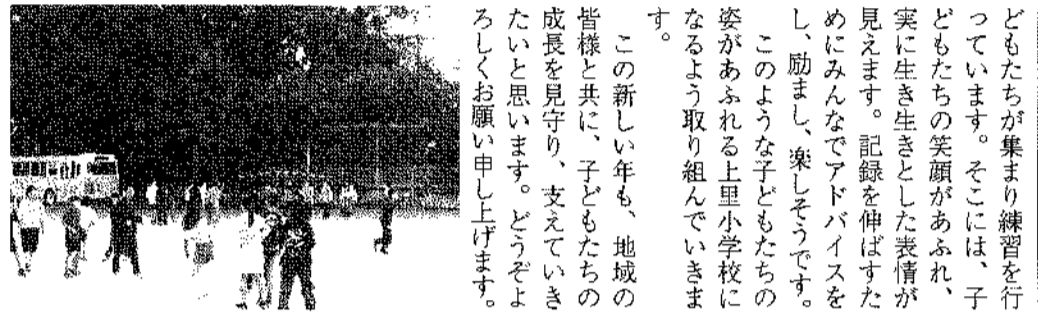
「雨の運動会」が

教えてくれたこと

大原野小学校 教頭 太田陽二

新しい年を迎え、地域の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。日頃から、登校中の見守りや交通安全教室、放課後まなび教室など、多くの地域の方々にお世話にな

つております。優しい笑顔で子どもたちに声をかけて頂き、安心して過ごせる環境を作って頂いていることに、深く感謝しております。さて、10月19日に開催された運動会では、保護者の皆様だけでなく、多くの地域の方々にもご参観頂き、子どもたちは大変やる気に



どもたちが集まり練習を行っています。そこには、子どもたちの笑顔があふれ、実に生き生きとした表情が見えます。記録を伸ばすためにみんながアドバイスをし、励まし、楽しそうです。このような子どもたちの姿があふれる上里小学校になるよう取り組んでいきます。

この新しい年も、地域の皆様と共に、子どもたちの成長を見守り、支えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、令和6年度は、1月7日(火)から3学期が始まります。3年生はそれぞれの進路実現と卒業に向けて中学校生活3年間および小中9年間の義務教育の総まとめをしていく、2年生は、最上級生としての心構えと引き継ぎを意識した学校生活をしていく、1年生は進級を控え、1年間のまとめをしていく時期となります。

「今後の学校教育と

地域連携の在り方」

大原野中学校 校長 宇野宏文

初春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、希望に満ちた令和7年の新春をお迎えのことと存じます。平素より、本校教育に對しまして深いご理解と温かいご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年度は、1月7日(火)から3学期が始まります。3年生はそれぞれの進路実現と卒業に向けて中学校生活3年間および小中9年間の義務教育の総まとめをしていく、2年生は、最上級生としての心構えと引き継ぎを意識した学校生活をしていく、1年生は進級を控え、1年間のまとめをしていく時期となります。

これからの学校教育では、将来の社会を担っていく子どもたちに求められる資質・能力を学校だけでなく、社会とともに育てていくことが求められています。この理念は、学校教育で学ぶ子どもたちがやがて社会の一

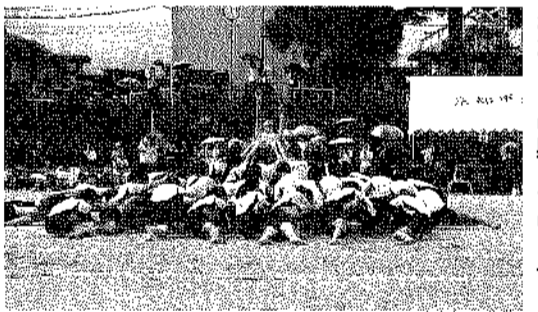


まずは運動場の水を取り除こうと、教職員がスポンジを手に取り作業を始めました。しかし、広い運動場の水を取り除くのは気の遠くなるような作業でした。その時「先生、私たちが手伝います。」と、6年生の女子2人が駆け寄ってきました。誰かに言われたわけではなく、自分たちの運動会、小学校生活最後の運動会を成功させたいという強い思いから、自らスポンジを手に取り黙々と水を吸い取ってくれました。そして1人また1人と加わり、手伝ってくれました。その姿を目の当たりにし、胸が熱くなりました。

さらに保護者の方々もその輪に加わり、児童・教職員・保護者の思いが一つに

なりました。その思いが通じたのでしようか、雨はほとんど止み、運動会は再開されました。子どもたちは体育服を泥だらけにしなが、最高の演技や競技を披露してくれました。無事に運動会は大成功を収め、応援に来てくださった保護者や地域の皆様、来賓の方々から惜しみない拍手を頂きました。

運動会を続行するかどうか、その判断に迷いました。続行も延期も、どちらも正解だったと考えています。その上で、本校は続行を避けました。人生には晴れの日は限りではなく、雨の日も風の日もあります。台風の日だってあります。そんな困難も、友と協力し、優しく手を差し伸べ、時には



上里竹の子こども園

おいも掘り。スコップを使って、土を掘るとさつまいもが顔を出しました。友だちと力を合わせておいも掘りを楽しみました。



大原野こども園



城陽のサンガタウンへサッカーの練習に行ってきました。大きな人工芝のコートに大喜び。休憩する間も惜しんで走り回っていました。練習の後はお楽しみのお弁当/お弁当の見せ合いっこをしながら食べていました。

大原野幼稚園

晴天に恵まれた第55回秋季大運動会。みんな生き生きとした表情でどの競技も力いっぱい頑張りました。



のびゆく園児たち

体振だより

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
 大原野地域の皆様には、体育振興会の活動に対し、ご支援、ご協力を賜わり心より御礼申し上げます。
 今年度は区民体育祭を5年ぶりに開催することが出来ました。地域住民の皆様は厚く御礼申し上げます。
 久々の体育祭で心配をしておりましたが、当日は天候に恵まれ競技・応援に一日中笑顔が絶えず、心から体育祭を楽しんで頂いた事と存じます。
 区民体育祭は、世代を超えて親睦と交流を深め、地域の絆を更に深めるものであり、地域コミュニティづくりに役立つものと確信いたします。
 今後も、役員一同地域スポーツの発展に全力で取り組んで参ります。引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。
 結びに、本大会の開催に当りご尽力を賜りました関係者各位に深く敬意を表し感謝申し上げます

大原野体育振興会長 上田清和



大原野区民ソフトバレーボール大会 優勝 右京の里チーム



西京区ソフトバレーボール祭 優勝 優秀堂



区民体育祭



大原野区民ソフトバレーボール大会 優勝 上里町チーム

令和6年度事業 今後の予定

- 令和7年
- 1月19日(日) 西京区卓球大会(桂川地域体育館)
 - 2月9日(日) 大原野区民卓球大会(大原野小学校体育館)
 - 2月16日(日) 京都マラソン(スタッフ ボランティア参加)
 - 2月23日(日) 洛西七地域スポーツ大会(桂坂小学校)
 - 3月16日(日) 里山ウォーキング(主催:森林公園運営管理協会) 大原野小学校~大原野森林公園

ホップ!!

ステップ!!

ジャンプ!!!

大原野地域の主な行事予定 (令和7年1月~6月)

- 1月13日(月) 出初式 (大原野消防分団)
- 1月13日(月) 自治会長会議 大原野総合自治会館
- 2月中 社協賛助会員募集運動 西京全域
- 2月15日(土) 自治会長会議 大原野総合自治会館
- 3月14日(金) 大原野中学校卒業式 大原野中学校
- 3月15日(土) 自治会長会議 大原野総合自治会館
- 3月16日(日) 里山ウォーキング (体育振興会・少年補導委員会)
- 3月16日(日) 安心安全ネットワーク協議会による地域パトロール(安心安全ネットワーク協議会)
- 3月21日(金) 大原野・上里小学校卒業式 大原野・上里小学校
- 3月下旬 悠愛会総会 大原野総合自治会館
- 4月9日(水) 大原野中学校入学式 大原野中学校
- 4月10日(木) 大原野・上里小学校入学式 大原野・上里小学校
- 4月19日(土) 自治会長会議・各種団体長合同会議 大原野総合自治会館
- 5月中 日赤社資増強運動 全国一斉
- 5月17日(土) 自主防災会総会・自治会長会議 大原野総合自治会館
- 社会福祉協議会評議委員会
- 6月15日(日) 安心安全ネットワーク協議会による地域パトロール(安心安全ネットワーク協議会)
- 6月18日(水) ふとんクリーニング 大原野地域
- 6月21日(土) 大原野森林公園運営管理協会総会 大原野総合自治会館
- 自治会長会議

定例会議/事業

- 自治会長会議 毎月第3土曜日
- 交通安全推進会 通学時間帯の車徐行運転啓発運動 毎月第2水曜日
- 使用済み食用油回収事業 毎月第3土曜日
- 大原野小学校 古紙回収(PTA) 毎月第2土曜日
- 上里小学校 古紙回収(PTA) 毎月第3木曜日
- 大原野中学校 古紙回収(PTA) 毎月第4金曜日
- ◆健康すこやか学級事業(対象者:65歳以上の方)
- やさしい筋トレ・たのしい筋トレ 大原野総合自治会館 毎月第1木曜日
- 右京の里会館 毎月第2木曜日
- 春日町自治会館 毎月第3木曜日
- 上里小学校コミュニティホール 毎月第4木曜日
- おしゃべり会(年齢制限無し) 右京の里会館 毎月第3火曜日(8月は休み)
- 〈まるやかクラブ(囲碁・将棋) 募集中〉
- ◆子育て支援事業(対象者:これからママになる方、0~3才の乳幼児とその親)
- ママ・ちゃいるど大原野 会場は平安徳義会他4か所を順番に(10:00~11:30)毎月第2木曜日

「なぬか会」

日帰りバス旅行 関西国際空港の裏側探索と 月化粧ファクトリー工場見学

ようやく秋の気配が漂う10月8日(火)、総勢27名で恒例のなぬか会日帰りバス旅行に行きました。まず向かったのは今年で開港30年、甲子園球場の約274個分の広さがある関西国際空港(関空)です。バスガイドさんの軽妙なお話を聞いていたうちに目的地に着きました。今回は関空の裏側探検ということで、ここからは関空専属のガイドさんの説明になりました。普段は一般のお客様が入れない航空保安区域をバ

スに乗ったまま見学です。アンダーパスを抜け大阪国際郵便局や機内食を作るビル等を見学して、バスごと立ち入り禁止区域に入っていました。バスから降りて今まさに着陸しようとする飛行機に向かってフェンス越しに皆で手を振りました。機長さん達、気が付いてくれたかな?

関空を後にして、次はエアポートワシントンホテルでの昼食会。和洋食ランチバイキングを満喫し、お腹もすっかりふくれて、大阪名物月化粧の工場見学に行きました。ビデオ視聴後、月化粧が次々と出来上がっていく様子を見て、最後に出来立てを試食。美味しく頂きました。工場直営の売店でお土産を買って、バスに戻りました。



月化粧ファクトリー

2024年10月8日

民生・児童委員名簿

民生・児童委員	担当区域
岩崎 睦子	北春日町
小原 節子	南春日町
小島 睦子	上里北ノ町
治田 佐代子	上里南ノ町
小田 芳弘	灰方町
日下部 純江	石作町
奥田 康子	小塩町
西田 昌司	上羽町
齋藤 民江	石見町
上羽 正樹	宇ノ山町
畑 昌之	外畑町・出灰町
古石 美和子	紅葉町
浅田 光代	勝山町
若林 佐由美	鳥見町
服部 康江	男鹿町
森 美幸	東野町・東山台・エルパーク・滝ノ下
(主任児童委員)	担当区域
齋藤 恭江	大原野小学校区
土高 永貢子	上里小学校区

関空の裏側探検や、当地グルメの試食・買物にと、参加者の皆さんが親交を深め、楽しく有意義に過ごした秋の一日でした。

(小島)

自治連合会の行事は、コロナ禍を経て昨年から次々と再開されています。5年ぶりに開催された大原野区民体育祭も、地域にとってはこれまでとは異なる意味を持つ行事であったと思っています。

長引くコロナ禍を経て迎えたアフターコロナの世界では、デジタルツールでの繋がりを超え、人と人が直接顔を合わせ、声を掛け合う喜びがそこにありました。対面での交流が、これまで以上に価値あるものと多くの方々が感じられたことと思います。競技に参加する大人も子供も、応援に駆けつけた人たちも、久しぶりに一体感に包まれ、楽しんでおられました。特に玉入れやリレーなどの団体競技には、たくさんの方々の笑顔が溢れていました。今年の体育祭は、デジタルツールの利便性と人と人との直接の交流がいかに大切かを実感した、新しい時代の地域活動を示す象徴的な行事であったと思っています。

(小)

編集余談